

JOY会 第42回研究会 ヤクルト化粧水の工場見学 体の内外から美しく

JOY会は11月13日、「ヤクルト化粧品の工場見学～五感で感じる体感ツアー～」をテーマに工場見学を開催。湘南化粧品工場（藤沢市）にて行い、19名が参加した。



当日の集合写真

ヤクルトは「おなかに良い菌はお肌にも良い」との着想から化粧品を開発。①「乳酸菌飲料」（シロタ株）でおなかの調子を整え、②乳酸菌生まれの保湿成分（シロタエッセンス）を配合した「化粧品」でお肌の健やかさを守る、体の「内外美容」を提唱している。



石けんを体験



化粧品の変遷について聴講

当日は、化粧水や洗顔料などスキンケア商品の生産ラインを見学。手間と時間がかかる設備の蒸気殺菌など、食品会社ならではの厳しい品質管理が行われていた。柑橘やラベンダー香るフロアでは、リラックスしながらヤクルト化粧品の変遷を伺った。その後、様々な商品を実際に試して体感。「ヤクルト1000」を飲みながら、和気あいあいとお肌のお手入れ方法を学んだ。



活動報告

quick reports



突発的閉院とならないための 「計画的閉院の心得」

「もういい、継がせるのはやめた。来月閉院しよう」――

そう語るのは、開業30年のD院長。かねてより第三者承継を希望し、数人の医師と交渉を重ね、最後に信頼していた承継希望者から「今回は見送らせてほしい」と告げられた。

突然の白紙。時間をかけて構築してきた計画は一瞬で崩れた。ショックを受けたD院長は即座に閉院を決意したが、そこから現実が襲う。「閉院する」と決めても、すぐに閉院できるわけではなかったのだ。

■ 閉院には「計画的な段取り」と「想像以上のお金」が必要

まず直面したのは、賃貸契約の解約期限。建物は6カ月前までに解約通知が必要で、土地は1～2年以上前に通告義務ありという契約内容も。次に突きつけられたのは、スケルトン工事の問題。原状回復として求められたのは、床・壁・天井・配管などすべて撤去してがらごうに戻す内容だった。工事期間は通常1カ月、繁忙期は2カ月以上かかり、費用も数百万円単位かかる。さらに、患者への告知も簡単ではない。慢性疾患の患者には紹介状の準備が必要で、適切な転院先の案内も求められる。少なくとも1～2カ月前には告知が必要だ。従業員への告知は再就職の関係上、さらに余裕をもって告知を行わないとトラブルになりかねない。

これらの準備が整わないうちに「来月閉院です」と言っても、混乱と信頼喪失を招くだけで、業者・スタッフ・患者全てが「突発的閉院」の犠牲者となる。

■ 「承継を諦める基準」と「閉院をいつまでに何をどうするか」を明確にする

D院長が最も後悔したのは、「承継に固執しすぎて、閉院の準備に全く手を付けていなかったこと」。たとえ承継交渉中でも、「〇月までに〇〇なら、居抜き売却または閉院に切り替える」ラインを事前に設定していれば、混乱は避けられたかもしれない。

■ 教訓：突発的閉院を防ぐための3つの心得

- 1：承継を諦める「判断基準」を最初に決めておく
→「いつまでは承継交渉、そこからは閉院準備」と明確に線を引く
- 2：閉院は段取りがすべて。逆算スケジュールを立てる
→賃貸契約、工事、患者、従業員告知の所要期間を踏まえた「閉院チャート」を作成
- 3：閉院に必要な資金計画を立てて「計画的」閉院経験のある専門家に相談する
→医療法務に精通した行政書士や医療に詳しい不動産業者の協力が不可欠

閉院は、診療の終わりではなく「人生の新たな出発点」。しかし、段取りを誤れば最後の印象が「混乱と後悔」に塗り替えられる。今すぐではなくても、「その日」を見据えた準備を。それが、院長としての最後の責任なのかもしれません。

※本稿は当会で開催した個人開業医／閉院セミナー（2025年2月18日）講師・柏崎幸一氏（行政書士法人プロシラス 総合法務事務所・代表行政書士）によるものです。閉院に関するご相談は税対経営部まで（TEL：045-313-2111）。

「閉院は簡単だと思った……」

ある院長の告白から学ぶ

会員限定共済制度のご案内

各共済制度の詳細はパンフレットをご確認ください。資料請求・お申込希望の方は共済部(TEL:045-313-2111)までお電話ください。右のQRコードからメールでのお問合せも可能です。



グループ生命保険

【随時お申込受付中】

シンプルな保障で割安な保険料を実現

先生に万一のことがあった時、遺されたご家族には重い負担がのしかかります。保障額は最低100万円から最高6,000万円まで設定可能¹。

保険医協会のグループ生命保険は、保障内容を死亡または高度障害状態に絞ることのできる保険料を抑えています。会員の先生ご本人にご加入いただければ、配偶者様やお子様も加入可能です。さらに、引受保険会社の決算状況によっては年間保険料の一部を配当金としてお返しします。2025年度は年間保険料の約26%（約3カ月分）を配当金としてお支払いしました²。

*1：年齢により保障金額の限度額が異なります。詳細はパンフレットをご覧ください。
*2：配当金は引受保険会社の前年度決算等により決定するため、配当金額は確定していません。

保険医協会の二大共済制度 4月からお申込受付が始まります

休業保障保険

次回 2026年8月1日加入
(お申込期間：4月1日～5月25日)

保険医による保険医のための休業保障

傷病による休業時に加入回数と休業日数に応じて給付金をお支払いします（1回あたり：入院1日8千円、自宅療養〈免責3日〉1日6千円）。

保険料は加入時のまま満期まで上がりず、若いうちに加入するほど保険料を抑えることができます。例えば30日間入院した場合、8回加入していれば最大で192万円の給付を受けることができます。

保険医協会（休保共済会）が実施する会員のための制度のため、もしものときは加入者を手厚くサポートします。

*：告知書を元に加入審査を行います。また、勤務形態等によって加入回数に制限がございます。
*：加入日現在で59歳6カ月未満の方がお申込可能です。59歳6カ月を超える方は「所得補償保険」をご検討ください。

従業員退職年金

2月28日申込締切
【2026年5月1日加入】

まだ間に合います！お申込み希望の方はお急ぎください！

年利1.126%（～2026年4月30日まで）、医療機関の積立制度。院長（法人）が掛金を負担し、院長（法人）が受け取るため、退職金以外にも使い道は自由です。この度、制度の見直しを行い、2026年5月1日から予定利率が1.171%に上昇します。また、元本割れ期間が約4年1カ月まで短縮される見込みです¹。

さらに、引受保険会社の運用実績によっては配当金の上乗せがあります。2024年度は予定利率1.126%に加えて、0.16%の配当があり、最終実績は1.286%となりました²。お申込期間は年2回のみ。ぜひこの機会にお申込みください。

*1：掛金から事務手数料が控除されるため、短期間で解約した場合は受取金額が払込掛金額を下回ります（元本割れ）。
*2：配当金は引受保険会社の運用実績により決定するため、お支払いを約束するものではありません。

保険医年金

次回 2026年9月1日加入
(お申込期間：4月1日～6月15日)

引退後の生活資金に備えましょう 急な資金需要にも対応可能！

保険医年金は毎月1万円から始められる積立制度です。1口50万円の一時払で一気に積み増すことも可能です。

予定利率は1.225%、老後資金はもちろん、急な資金需要の際には積立金の一部を部分解約することもできます¹。積立も受取も自由度が高く、働き方が多様な「保険医のための制度」です。

既に資金運用をされている先生は、分散投資の堅実枠としてもおすすめです。

*1：月払では約4年0カ月、一時払では約2年0カ月以内に中途解約した場合、受取金額が払込掛金額を下回ります。